

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第6回西脇市総合計画審議会
開催日時	令和6年9月27日（金） 午前10時から午前11時55分まで
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	13名
欠席委員の 氏名又は人数	5名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名、関係課16名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 総合計画・後期基本計画（案）について 2 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会></p> <p>（資料確認）</p> <p>（会議成立の報告）</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>本日は第6回目の会議となる。前回は計画案の前半を議論いただいたが、本日は後半部分について意見をいただく予定である。県内でも、新しい品種の米栽培といった動きが見られ、気候変動や社会の変化に対応していく必要性を感じる。各委員の専門分野、関心の高い分野で忘たんのない意見をいただき、計画に反映できればと思う。よろしくお願ひする。</p>
事務局	
会長	

	<p>2 総合計画・後期基本計画（案）について</p> <p>【第4章】</p>
事務局	資料2に基づき、事務局から説明
委員	<p>農業は産業の基本だと考えている。私は、20年前にハウスイチゴの栽培を始め、現在は就農希望者のインターンシップ受入れや研修を行っている。法人化し、研修受入れのほか、新卒の農大生を採用するなどして就農者の育成や増加に向けた取組を進めている。県のセンターなどと協力して人材育成に努めており、制度としては整ってきた一方で、就農希望者を受入れ可能な事業所が少ない点が課題だと感じている。特に農業は初期投資が大きいいため、新卒の農大生などが個人就農することが難しく、農業法人などに就職してから独立する、といった形が望まれている。受入れ先がないことで就農につながっていない状況があるため、国や県とも協力して受入れ先を整備することが必要だと強く感じている。</p>
会長	<p>初期投資が大きいとのことだが、設備が整っていれば新卒の就農者も一定の所得が得られるのか。</p>
委員	<p>得られる。また、認定就農者となるためには、所得として200万円が必要である。</p>
関係課	<p>新規就農希望者は、最初に農業法人などに就職することが多い中、就農希望者の受入れ先が少ない点は課題と認識している。西脇市では、農業形態として法人が少ない状況のため、各地区の集落営農組織が合併して法人化するなど、農業法人を増やす取組を進めていくことが必要だと考えている。国や県の補助制度の活用や制度拡大の要望などによって農業を取り巻く環境を良くしていきたい。</p>
事務局	<p>市としても農業参入を目指す法人への支援体制の強化は必要だと考えており、後期基本計画では第4章政策2施策1に記載している。</p>
委員	<p>自身も米などを生産しており、農業に参入するための初</p>

	<p>期投資が大きい点を実感している。また、近隣で農業を行っている人などから、後継者がいないという話を聞くことがあるため、耕作放棄地が増加することを懸念している。家の中や敷地内に倉庫等があることも、継承しにくい理由と考える。市やJAが、兼業農家の子ども等を対象に、意識調査をすることを検討してはどうか。</p> <p>農業においては、経営も大切だが、出口戦略が重要であると考える。特に生鮮野菜などは鮮度が大切であり、出口がないと生産が難しい。また、農業への企業参入については、「生産性、雇用、経営力」の全てを併せ持つことは難しいと考えている。先進地の養父市でも当初参入した企業が撤退し、現在は違う企業が担っていると聞いている。若い農業者を育てる環境づくりを進めていく必要がある。</p>
<p>関係課</p>	<p>昨年度に改定した農業ビジョンでは、市内の農家を対象にアンケート調査を実施し、約半数が「継続が難しい」と回答している。若い人へのアンケートも重要だと考えるため、今後、そのような機会を持てるよう検討したい。</p>
<p>副会長</p>	<p>第4章政策4では観光交流について記載があるが、特にインバウンドを対象とした観光は、一つの自治体だけでは難しいように思う。県や近隣市町と連携した観光振興や観光ルートの検討などが必要だと考える。</p>
<p>関係課</p>	<p>西脇市においては、外国人旅行者の観光は少ない状況である。北播磨県民局管内の市町で構成する広域観光協議会や3市1町で構成する北播磨広域定住自立圏など、広域の枠組みも活用しながら、PRや観光ルートの設定など、今後も観光振興の取組を進めていきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>他の自治体の観光振興に関わっているが、国や県の補助金を活用しながら「高付加価値型のインバウンド振興」に取り組んでいる。そこでは、地域に観光振興への意欲がある一方、比較的近くに有名な観光スポットがあること、現在の延長上の取組であることから、田園地域への誘客が難しい状況である。西脇市においては、そのような大型の観光スポットはなく、地域資源を生かした観光がメインになるため、様々な可能性があると思う。</p>

副会長	<p>第4章政策5に起業創業支援に関する内容が記載されているが、女性起業家の支援も記載した方が良いのではないか。また、政策5施策1と施策3の関連が強いように思うことから、施策1、3、2の順に変更した方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>前期基本計画では、起業支援について、第4章と第5章（女性活躍）にまたがって記載していたが、内容が一部重複していた。後期基本計画では、商工観光課、男女共同参画センターの各所管業務を踏まえて、整理し直した。施策の順番については、検討したい。</p> <p>【第5章】</p>
事務局	<p>資料2に基づき、事務局から説明</p>
委員	<p>第5章政策5で女性活躍について記載があるが、男女共同参画の啓発ボランティア活動などに取り組む中で、社会の変化を感じる。特に、男性向け講座などでは、世代が変わったことによるものか、男性の家事能力が向上していると実感する。そのような家庭で両親を見て育つ子どもたちの意識も変わり、世代が進むことで意識の変化が進んでいくと考える。「昔は」や「今の若い人は」といった表現をしてしまいがちであるが、様々なことを許容していくことが大切だと思う。</p> <p>一方で、政策5の内容からは「女性が頑張らないといけない」という印象を受ける。「性別にかかわらず」という点がポイントになると考える。第5回審議会において、消防団に女性が参画することについて発言した際、「女性の役割」のような表現をしてしまったが、仕事の細分化によって、性別にかかわらず、担える人が増えると思う。</p>
事務局	<p>男女共同参画は「男性も女性も性別にかかわらず、その人らしく生きていけること」だと理解している。一方で、女性が望む生き方を選択する際に、様々な阻害要因がまだまだ残っている状況にあり、そのための環境づくりが必要という課題意識を持っている。「性別や障害の有無などにかかわらず、誰もが活躍できる社会」を目指すことはもちろんであるが、そうした政策名の場合、課題が不明瞭にな</p>

<p>会 長</p>	<p>ることから、政策 5 では女性に絞った内容とした。</p> <p>基本的な考え方は、委員も共通認識を持っているように思う。その上で、政策 5 の細かな表現を引き続き検討してほしい。</p> <p>【第 6 ・ 7 章】</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 2 に基づき、事務局から説明</p>
<p>委 員</p>	<p>第 6 章政策 4 では西脇への関心を高めることについて記載があるが、特に市外の人への魅力発信の取組について聞きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>市民を対象としたアンケートは実施できる一方、市外の人から見た西脇市のイメージを把握することは難しい現状がある。数年前の民間調査で「西脇市の認知度はまだまだ低い」といった結果は目にした。また、観光に関連した調査では、食や自然の豊かさが評価されている一方、神戸市や姫路市と比べると観光地としての魅力は低くとどまっている。</p> <p>都市イメージの発信については、ホームページや SNS を用いた情報発信のほか、動画による情報発信が西脇市の特徴と思う。また、大学や高校で授業をする機会があるが、その際に西脇市のまちづくりや魅力などを紹介することで本市に関心を持つきっかけに繋がっていると感じている。デジタルではない部分での関係づくりなどにも引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>関係課</p>	<p>西脇市では、YouTube、インスタグラム、フェイスブックなどの SNS を通じて市の魅力発信を行っている。何を発信するか、という点が重要であるが、現在は市のあらゆるものを地域資源と捉え、様々な角度から発信できるよう努めているところである。</p>
<p>委 員</p>	<p>SNS のフォロワー数も気になるところだが、西脇市にはまだまだ魅力が隠れているように思う。行政という枠にとらわれ過ぎず、企業のコマースといった意識で魅力発信に努め、西脇市のファンを増やし、全国的な知名度を</p>

	<p>高めるまちづくりを進めていくべきだと考える。</p> <p>また、第6章政策1「参画と協働」に関連し、10年ほど前に自治基本条例の内容を検討する委員として参加していた。当時は他の委員と意見交換をし、一生懸命考え、条例の施行を迎えたが、現在はうやむやになっているように感じる。同様の取組も多くなっているのではないかと思う。「市民が知る」ということが大切であるため、市民に伝わる情報発信が重要だと思う。</p>
委員	<p>所属する商工会議所女性会の立場から、県内、関西、全国の交流会などに参加する機会がある。そういった場では、様々な市外の人と出会うことができるため、へそのまちであることや災害が少なく住みよいまちであることなど、西脇市のPRに努めている。特に、播州織には強く関心を持たれており、播州織工場の見学など、西脇市に招待したいと考えている。</p>
副会長	<p>第7章政策4の政策指標が懲戒処分件数となっているが、もう少し前向きな項目に変更できないか。また、前期基本計画での実績値はいくつだったのか。</p>
事務局	<p>本指標は前期基本計画から引き継いだ項目である。政策3では市民から見て市職員が信頼に足るかを定性的に測っており、政策4では定量的な指標としている。客観的な指標でより良いものがないか担当課と検討したが、本政策は、適切に行政運営を進めることを目指すものであり、現行の指標で実績ゼロを目指すことも妥当と考えた。なお、法令違反等に係る懲戒処分件数は、近年0件となっている。</p>
会長	<p>プラスの項目にできると良いと思う。</p>
副会長	<p>この政策には、全国的にこのような指標が設けられているのか。</p>
事務局	<p>政策4の内容を総合計画に位置付けている自治体はあまりなく、参考となる事例は少ないと認識している。本市においては、会計部局や監査部局などを含めて幅広い部課の業務を総合計画に位置付けていくという考えで、政策4を設けたという経緯がある。</p>

<p>会 長</p>	<p>他の自治体職員も含め、先進事例の学習やボランティア活動など、自己研鑽に努めている職員が多いという印象を持っている。行政のプラス面を測定することも必要だと改めて感じた。</p>
<p>会 長</p>	<p>その他、全体を通して御意見や御質問があれば発言してほしい。</p>
<p>委 員</p>	<p>何点か意見を述べたい。</p> <p>第4章政策4観光交流の分野に関連し、単発のイベントではなく、何度も西脇に訪れてもらえる施設をつくり、リピーターを確保することが大切だと思う。他府県では飲食店などと連携した施設があり、そういった施設を増やす取組をしてはどうか。</p> <p>また、他の委員からも発言があったが、第5章政策5の政策名が「女性が活躍できる社会を実現する」となっている点が気になっている。まだまだ女性を取り巻く環境に課題があることからこのような政策名としたとの説明であったが、例えば「女性の可能性を最大限発揮できる社会を実現する」のように変更してはどうか。</p> <p>第5章政策4の部活動の地域移行について、学校の教師をしていた経験から、学校の先生が部活動指導をすることに意味があると考えている。例えば、学校の先生であれば人間関係や給食の状況などを把握している。外部委託では、技術的な指導はできるかも知れないが、スポーツなどを通して子どもたちを伸ばすことが難しいように思う。形だけの制度にならないよう、学校と地域の連携を密にすることが重要だと考える。</p> <p>自身は西脇が好きで、例えばメディアで西脇が紹介されるととても嬉しく思うが、同年代や若い人は、田舎で夜に遊ぶところがない、というように紹介してしまう。若い世代が「良いところがあるよ」と言えるまちづくりをしていけたら良いと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>民間事業者とのコラボによって誘客につながる施設を整備することについてであるが、西脇市を目的地として訪れてもらうことは大切だと考えており、そういった視点を持って企業立地などに取り組んでいくことは大切だと考えて</p>

	<p>いる。一方で、大都市にあるような施設を誘致しても、大都市ではより環境が充実しているため、勝負することが難しい。田舎の空き家を改修した飲食店などを増やす取組を進めているが、こうした「西脇ならではの」という点も大切にしながら、並行して進めていきたい。</p> <p>部活動の地域移行については、検討会議で議論を進めているところであるが、子どもたちが多様な体験ができる場を提供することが重要であり、そのために地域との連携が不可欠と認識している。子どもたちの成長につながるよう、検討会議で議論していきたい。</p> <p>第5章政策5については、この場でも2名の委員から御意見をいただいております、検討が必要だと感じた。「女性」というキーワードは残したいと考えているが、他の委員の意見も伺いたい。</p> <p>会 長 趣旨は変わらないと思うが、表現を工夫してはどうか、との意見だと思う。他の委員も異論がなければ、事務局で検討いただき、今後の進め方を含めて事務局に任せて良いか。</p> <p>委 員 (異議なし)</p> <p>事務局 「活躍」よりも「その人らしく」というニュアンスで整理する方向で良いか。</p> <p>会 長 その方向で再検討いただきたい。</p> <p>事務局 3 その他</p> <p>事務局 活発な御意見や御質問をいただき感謝申し上げます。 次回の審議会では、第5回・第6回審議会を踏まえた対応やまちづくり指標などについて報告させていただくことになるが、引き続き御協力をお願いしたい。</p> <p>< 閉会 ></p>
問合せ先	西脇市市長公室政策推進課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014